

とうきょう すくわくプログラム



ひよこハウス豊田では令和 6 年度から「とうきょうすくわくプログラム」に取り組んでいます。とうきょうすくわくプログラムとは、主体的・協働的な探究活動を通じて「伸びる・育つ(すくすく)」と「好奇心・探求心(わくわく)」を支援する取り組みです。

テーマ 「 水 」

5才きりん組

水は、生きていく為に・生活していく為に・楽しませてくれる為にも、身近な存在であり大切である。

日常生活の中で、どのような役割りをもっているのか伝えていく。

実験などにより、形や色・量を変えることで変化し、楽しませてくれる水として、興味・関心を深める。

日常生活の中で、欠かせないもののひとつとして大切さを伝えていく。

●準備したもの

- 60色えんぴつ
- 試験管
- ピッチャー
- 食紅

など

●活動内容や子ども達の様子

◎三原色の食紅を用意し、自分の好きな色を選び水の入った瓶やグラスに入れてみよう！



✿ 水の量・食紅の量・入れ方好きなだけどうぞ



「きれ~い」

「輪っかになった」「どうやったら輪になったの？」

「そっと1滴だけ入れたの、やってみて」

「くらげみたい」

「ちょっと触ってみよう」「近くで見ると水の中に入っているみたい」

「他の色も入れて混ぜてみたい」「離れて色を見てみよう」



◎他の色を入れて混ぜてみよう

「ワクワクする！」

「タコが墨を吐いたみたい」

「竜巻に吸い込まれる」

「メロンソーダーみたい」

✿ 食紅をもう一色入れてみたい！子どもの声から、ではやってみよう！



「赤に黄色を入れたら・・・オレンジになるはず」

「黄色に青を入れたら・・・みどりになるとおもう」

✿ お友達と同じ色の食紅を混ぜたのに、色が違うのはどうして？

「本当だ！ どうして？ なんで？」

「水が少なかったから？ 食紅の入れた量が違う？ 入れ方じゃない？」



✿ どれが一番濃い色？ うすい色？

「これが一番濃いね、

えーこれじゃない？

うーんこっちだね」



◎できた色が何色か調べてみよう



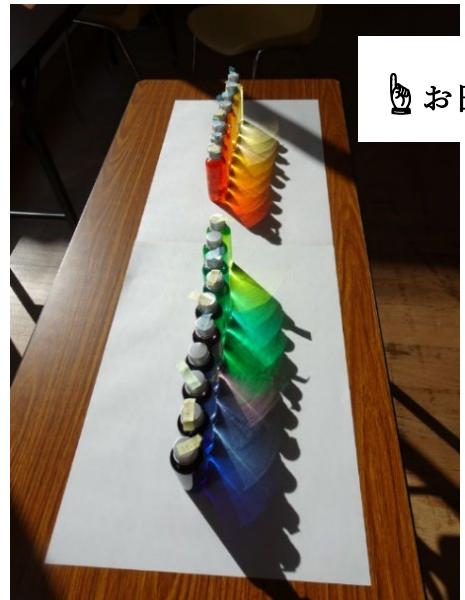
60色のいろえんぴつで自分で作った色を探してみよう！



「黄色だけでもたくさんの色がある！」

「似てるけど、ちょっと違う」

「初めて聞く色——！」



お日様の光に当てて見たらどうなるかな？



◎日向でみてみよう

「キラキラしてる！」

「海に宝石があるみたい」

「白い紙の上に置いてみたい」

「色が反射する」

◎ふりかえり こどもたちの様子



年長児との取り組みの中で、一番身近な「水」をテーマに取り組み、子ども達はワクワクしてキラキラした目で活動する姿があった。

後で感想をたずねると「おもしろかった」「たのしかった」という言葉では言い表せない程の感動を大人はいただいと感じている。

改めて水を通して形・量・色を変える事で変化する水を経験した（光による屈折を経験する）。

18名それが実験を通して違う感動を「言葉」で表現してくれる中で、大人では気がつかない（忘れている？）言葉に感銘を受けることができた。

やってみたい事を時間をかけて実験でき、子ども達も含め大人も改めて感動する体験があり

このプログラムを続けていく意義を感じている。



水はどこからきているのかな？の大人の問いに

滝・川・海・雨・下水道・・・

富士山の雪が溶けて、と様々な答えが出ました。

水で氷を作りたい！お茶漬けやシチューも

いいね～と楽しい会話になりました

